

報告事項 7

県立高等学校における不適切な履修について

このことについて、別紙資料に基づき報告します。

平成24年7月23日

高等学校教育課

## 県立高等学校における不適切な履修について

このことについて、県立高校7校（明和高校、瑞陵高校、惟信高校、昭和高校、春日井南高校、東郷高校、小牧南高校）で不適切な履修がありましたので、報告します。

### 1 概要

県立高校7校の「世界史A」、「日本史A」の授業において、「世界史B」、「日本史B」の授業を行っていたことが判明した。

「世界史A」、「日本史A」は近現代史を中心に指導する科目であり、「世界史B」、「日本史B」は原始・古代から近現代までを通史的に学ばせる科目である。

7校では、「世界史A」、「日本史A」の授業において、「世界史B」、「日本史B」の原始・古代から中世までを教えていたため、「世界史A」、「日本史A」の科目の目標に示された、中心的に指導すべき近現代史を学習していないという不適切な履修状況となっていた。

### 2 経緯

- (1) 6月1日（金）、一部の県立高校で補助教材として使用されている山川出版社の「世界史A読本」、「日本史A読本」は、中身が山川出版社の「世界史B」、「日本史B」の教科書そのものであり、これを用いて不適切な履修が行われている可能性があるという情報が県教育委員会に寄せられた。
- (2) 県教育委員会において、この読本を使用している9校に年間指導計画と定期考査問題の提出を求め、調査したところ、7校において、「世界史A」、「日本史A」の科目の目標である近現代史が扱われていないなど、不適切な履修状況であることが確認された。
- (3) 県教育委員会は、直ちに該当校に授業計画等を修正させるとともに、既に履修を終えている生徒については、履修していない近現代史についての補充を行うように指示をした。
- (4) 補充時間については、履修されている項目があることを考慮し、「世界史A」は32時間、「日本史A」は36時間とした。
- (5) また、7月6日（金）の地区校長会で、「世界史A」、「日本史A」において不適切な履修がないか調査をするように全県立高校に指示をした。
- (6) 現在、全校調査の集約をおこない、7校以外に不適切な履修がないかを調査している。
- (7) 7校においては、生徒・保護者への文書等による説明と謝罪を行った。
- (8) なお、これらの状況については、文部科学省にも報告済みである。

### 3 不適切な履修があった学校、該当科目等

校名	該当科目	補充が必要な在校生数	
		2年生	3年生
県立明和高等学校	世界史A、日本史A		359名
県立瑞陵高等学校	世界史A		355名
県立惟信高等学校	日本史A		270名
県立昭和高等学校	世界史A		189名
県立春日井南高等学校	世界史A、日本史A	278名	277名
県立東郷高等学校	世界史A	236名	235名
県立小牧南高等学校	世界史A	278名	278名
		合計	2,755名

### 4 今後の対応

- (1) 7校において、不適切な履修状況になっている在校生に、長期休業期間等の補充授業と課題により、不足する近現代史の内容を適切に履修させる。
- (2) 8月上旬の校長会及び新教育課程愛知県説明会で、学習指導要領の基準を踏まえた適切な履修を行うよう改めて指導する。
- (3) 7校に対し、2学期に指導主事による学校訪問を実施し、履修及び補充の状況を確認する。
- (4) 各学校に補充完了後、補充実施報告書を提出させる。
- (5) なお、今回の件は、すでに卒業した生徒の卒業認定には影響しない。